

せい ぶつ た よう せい 生物多様性ってなんだろう？

「生物多様性」っていったい何のこと？「多様性」とは、幅広く性質のちがうものが存在することを言います。「生物」、つまり「いきもの」にはどんなちがいがあるのか見てみましょう。

まず、それぞれが生きている場所がちがいます。

海や川、森や林。いろいろな種類の自然があり、多くの「いきもの」が関わりあいながら生きています。

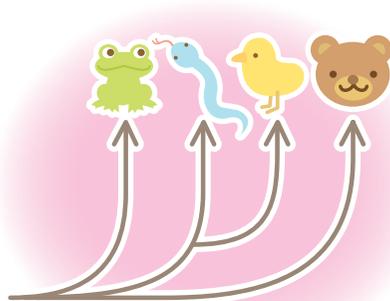
そして、さまざまな自然があれば生きている「いきもの」もちがいます。その数は未確認のものを含めて3000万種類といわれています。これは長い時間をかけて、祖先の「いきもの」から少しずつ枝分かれしてきた結果なのです。

また、種類が同じでもたくさんのちがいがあります。

たとえば、人間でも肌の色や背の高さがちがうなど、同じ人間でもそれぞれちがう「個性」をもっています。

これらすべてが保たれていることを「生物多様性」と言います。

そして、いろいろな種類の「いきもの」が「食べたり、食べられたり」や「利用したり、されたり」というように、お互いに関わりあって生きている「生態系」という「つながり」を作っています。それぞれの「いきもの」が「生態系」の中で重要な役割をはたしているのです。



せい ぶつ た よう せい めく

生物多様性の恵み

わたし にんげん せいたいけい なか
私たち人間も「生態系」という「つながり」の中にある「いきもの」なのです。

くうき みず さかな かじつ
すんだ空気やきれいな水、魚や果実などの
しょくりょう わたし い
食料がなくては私たちは生きていけません。

しぜん わたし せい
さらに、「自然」や「いきもの」は私たちの生
かつ やくだ あた
活に役立つものをたくさん与えてくれます。



き くさ かみ くすり いえ
たとえば、木や草は紙やトイレトーパー、薬、家などになっています。

やちょう かんさつ やがい かつどう しぜん わたし
また、野鳥観察や野外活動などの自然とのふれあいは、私たちをいやし
てくれます。

せいぶつ たようせい わたし ささ
「生物多様性」は私たちの「いのちとくらし」を支えています。

エス オー エス

いきものからの「S.O.S」

じつ わたし じぶん く ゆた せいぶつ たようせい
実は私たちは、自分たちの暮らしを豊かにするために、生物多様性の
こせい こわ
「個性」や「つながり」を壊していることがあります。

もり げんき く ちい もり
たとえば「森」で元気に暮らしていた「小さいいきもの」たち。「森」がな
ちい かず へ わたし かん
くなり、「小さいいきもの」の数が減るとどうなるでしょう？ 私たちには関
けい おも かんが ちい
係ないように思えますが、ちょっと考えてみてください。「小さいいきも
の」が減ると、それをエサにする「大きな
せいかつ
いきもの」が生活できなくなるのです。

おお きょうりゅう
「大きないきもの」はかつての恐竜のよ
ぜつめつ
うに絶滅してしまうかもしれません。

もり ちい
このように、「森」や「小さいいきもの」、
おお
「大きないきもの」はつながっています。



わたし にんげん いちいん
そして、私たち人間もその「つながり」の一員なのです。

ぼくたち・わたしたちにできること

「生物多様性」を守るために、私たちができることはむずかしいことではありません。

「いきもの」の住む環境を乱したり汚したりないようにしましょう

⇒自然の中にゴミを捨てない、自然のものを持ち帰らないなど

「いきもの」の住む環境を育みましょう

⇒木や草花を育てる、水をきれいにするなど

「いきもの」の住む環境にある資源やエネルギーを大切に使いましょう

⇒電気をこまめに切る、水を流しっぱなしにしないなど

また、外来種は野山に放してはいけません。外来種とは、もともと日本には住んでいなかった「いきもの」のことです。外来種を勝手に放してしまうと、急速に増えることがあります。そうすると、昔から日本に暮らしてきた「いきもの」たちは住むところや食べ物がなくなって生きられなくなり、生物多様性が失われてしまうかもしれません。

「いきもの」はみんなつながっています。

「いきもの」を大切にしましょう。



おおぶに住んでるいきもの

大府にはたくさんの「いきもの」が住んでいます。

草原に住んでいるもの、森や林に住んでいるもの、川や池に住んでいるもの。

大府の「いきもの」がどんなところに住んでいるのか、さがしに行きましょう。この本にある「いきものマップ」を見れば、出会えそうな「いきもの」がわかります。

「いきもの」を見つけたら、「いきものブック」などで詳しく調べてみましょう。いろいろな「いきもの」がみなさんを待っています!!

